

慶雲寺報

NEWS

* コロナウイルス関連

収束へ向かったかと思いきや、再びの感染数上昇。医療の最前線で働く方々に敬意を表すとともに、それぞれの場面でご苦労されている方々にお見舞い申し上げます。

おかげさまで、住職ほか家族一同、手洗いを励行しながら健康に過ごしております。感染拡大以降のご葬儀／ご法事等の仏事については、左記の通りです。

▽ご葬儀について

各葬儀社の対応は様々です。最期の別れに臨み粗末には出来ないとする所もあれば、祭壇前(ホール建物内)には近い親族しか入れないとする所もあるようです。



感染防止のためやむを得ず、会食を取りやめたり、会葬の規模を絞ったりの対応は必要かと存じます。しかしながら、以前にもお伝えした通り、故人の見送りにあたって、規模を小さくすることと、別れの儀式を簡略化することはイコールではありません。

住職(導師)といたしましては、基本的にご当家の判断を尊重しつつ、儀式に関してはこれまでと変わらず、しっかりお勤めしております。

▽ご法事について

春先以降、年忌の節目を迎えられたお宅の中で、数軒ほど延期の判断をされたお宅がございましたが、基本的に皆様、ご命日に寄り添った形でお勤めいただいております。寺としてもそれをお受けしております。

本堂でのお勤めの際は、①マスク着用のままでの参列を可能とし、②極力窓を開放して換気をし、要望に応じて③堂内のスペースを広く使っていたりするようにしております。



▽盆棚経について

お伺い予定のお宅には、寺報に添えて別紙予定表をお届けいたしました。

教区内他寺院の動静を伺うなど情報収集いたしました。熟慮の末、本年は【初盆宅のみ】へお伺いする予定といたしました。何卒ご了承ください。感染への危機感、人それぞれでございます。予定表にお名前がありましても、ご辞退される場合、その判断も尊重いたします。寺へご連絡ください。

* お盆へ向けて

13日に気持ちよく先祖様をお迎えできますよう、各家のお墓やお仏壇の清掃等、準備いたしましょう。



お墓掃除の際、各家墓地画前の通路部分にも手を伸ばしていただけますと大変ありがたい存じます。

◎伝道掲示板から

親、兄弟、夫婦など、どんなに結びつきが深い間柄でも、いずれは別れの時が訪れます。更に言えば、どんなに大切にしている「物」であっても、時には自分の手を離れたたり、壊れてしまったり…。

愛別離苦
別れと出会いは裏表
終わりは次へのスタートライン

愛別離苦は、仏教でいう八苦の一つに数えられ、出会ったものは必ず別れの時が来るといふ苦しみを指します。

学生時代習った古文で、この世や人生は無常であると学びました。時に、無常(はかな)いから、悲しい別れを仕方なく受け入れよう(諦めよう)という言説を耳にしますが、それは一面に過ぎません。

道元禪師は「無常を意識した時、自己中心の心や富や名声を求める心は起こらず、時の流れの速さを自覚することになる。すると、日常の行いが必死さを伴った尊いものとなる」と示し、無常を意識することの大切さを説きます。逃れることのできない愛別離苦を前にして、それをどう受け止めていくのか? 無常を意識した中で、自分自身の生命をどう使い、どう生きていくのか? 別れの苦しみは、私達に問いかけているのです。

* 11/16予定 施食会について

新型コロナウイルスの感染拡大状況を注視しつつ、本年度の実施方法を検討いたしました。存じます。特例の判断もあり得ます。予めご了承ください。